

# 向学館通信

2010・4・26

## 新学年の初めにスタートダッシュを！

5月、6月の学習でしっかり身につけておけば、後半が違ってきます。今、怠けると後で追い付こうとしても苦しくなりますよ。

★自習に来てください。家で何もしない、無駄な時間をすごしている、などの生徒は、塾で自習を！

## 今回は、数学の話をしました。今回は、英語の勉強の仕方について、です。

英語は、言葉ですから、1にも2にも繰り返しが大切です。数学は「問題を解く」という作業に多くの時間を使いますが、英語は「問題を解く」必要はないのです。繰り返して覚えることが、英語の勉強です。このところを勘違いしている人がかなりいます。数学のようにテキストの問題をやりたいがるけれども、覚えようとしなない人が多いのです。数学は「解く」ことで力がつきます。しかし、英語は、「慣れて覚える」のです。

覚えるというが、何を覚えるのか。まず、単語（発音、つづり、意味）を覚える、そして短文の丸暗記、これで多様な構文を身につけていくことができます。ところが、英語の成績の悪い人は、まず単語からしっかりと覚えていないのです。スペルがあやふやで間違いが多い。その上、覚える努力がほとんどないのです。ところが、テキストの勉強はしているのです。そして、テキストをやれば数学と同じように力がつくと思こんでいるようです。こうした人には、数学と英語は勉強の仕方を変えないとだめだと話をするのですが、なかなか方法を変えない人がいます。やはり、覚えるというくりかえし作業が嫌いなのでしょう。

数学は考えないとできない部分があります。そして、考えることが大事です。しかし、英語は、外国の言語ですから、考えてわかるというものではありません。慣れること、覚えることが勉強の基本です。だから、頭がいい・わるいはあまり関係ありません。どれだけ繰り返すが結果を決めるようです。

向学館では、耳から本式の発音で慣れてもらおうと、アロックワークというパソコンソフトを用意しています。これは自習でやれる勉強方法で、何度でも身につくまで繰り返して学習できます。生徒さんに勧めているのですが、これを使って英語力を高めようという人は、残念ながら少数です。親御さんからも、この活用をもっと勧めてください。

塾での勉強だけでは、学校の進度についていき、学習内容を確実にわがものとするには、時間が短かすぎます。短い時間では、わかった気になっても、十分な消化ができないので、何ヶ月か経つとかなりの部分を忘れていくのです。忘れるのを防ぐ、つまり、定着させるということが英語の学習にとっていちばん難しいところです。

## 文法の勉強もバカにしてはいけません。

もう一つ英語の習得にとって不利なことは、文法がわからないということです。最近の中学英語教育は、会話に重きを置くようで、文章を読むことを軽視しているような風潮さえ感じられます。ところが、高校では、かなり長い英文を読むことが普通です。また、大学の入試でも難しい英文の読解があります。長い文を読むには、文法や構文の知識は不可欠になります。ところが、中学校の文法の勉強をおろそかにした人は、高校でも文法を避けるようにする傾向があります。こうなると、英語の勉強から逃げたくなっていきます。こうならないためにも、中学での英文法の勉強には本腰で取り組んだほうがいいと思います。

現実には、中学生で、名詞、動詞、形容詞などの品詞の識別ができない人が大部分と言っていいでしょう。文法の知識の一番とっかかりの品詞さえわからないでは、その先の知識に進めません。文法を一から教えるには、個人差はありますが、かなりの時間を要することが分かっていますので、週に1コマや2コマの英語の受講では、文法に手がつけられないというのが、正直なところです。先で困ると分かりつつ手が出せないという事態に前から頭を痛めています。中学校でも、もう少し真剣にこの問題に取り組んでくれたらと思います。

**（再度お願い）自習に来させてください。★多くの生徒は勉強時間が足りないのです★**  
塾で自習してください。学習方法の指示はしますし、集中できます。アロックワークという英語のパソコン教材はきわめて有効です。